

安達駅周辺東地区 事後評価 根拠資料

指標 1	交通アクセス満足度アンケート調査（不満度）				
従前値	目標値		評価値 (H29)	単位	
	基準年度	目標年度			
61	H23	41	H28	31	%

<従前値>

- 過年度の駅利用者アンケート調査（平成 23 年度実施）の結果から、交通アクセスに関する不満度の割合（安達駅周辺の道路状況について、「やや不満」「不満（不十分）」と回答した割合）（61%）を従前値として設定した。

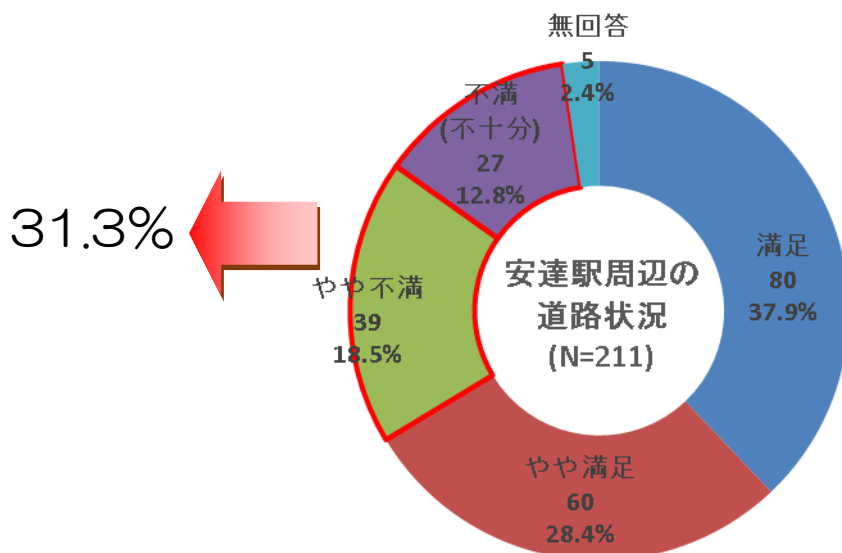
<目標値>

- 本計画の目標として、「交通機能の強化による、安全安心と利便性の向上及び交通渋滞の緩和」を掲げており、東西駅前広場、踏切、各道路の整備により、安達駅、駅東西地区や国道 4 号などを円滑に接続する自動車・歩行者ネットワークの確保等による相乗的な効果発現を目指している。
- 本計画における本指標の目標値は、従前調査における「不満」が約 2 割であったことから、これを解消するものとして、不満度は 20% 低い 41% に設定した。

<評価値>

- 計測時点で東西自由通路や周辺道路等は整備されており、一定の効果が見込めるため、安達駅利用者を対象として、従前と同様のアンケート調査を実施した。（平成 30 年 1 月 21 日(日)・22 日(月)に実施し、765 票配布、211 票回収、回収率約 28%）
- 従前と同様の設問「安達駅周辺の道路状況について満足していますか。（踏切、歩道、車道、道路幅等）」を設けたアンケート調査を安達駅東西自由通路上で実施（調査員が通行者に調査票を配布、東西自由通路上に設置した調査票回収箱にて回収）した。
- アンケート調査の結果、「やや不満」18.5%、「不満（不十分）」12.8%であり、あわせて不満度は 31.3%となり、目標を達成した。

■交通アクセス満足度アンケート調査結果（H30.1 実施）



※満足度の割合（「やや満足」「満足」と回答した割合）は、従前時は 35%、評価時は 66.3%

指標 2	駅利用満足度アンケート調査（不満度）				
従前値	目標値		評価値 (H29)	単位	
	基準年度	目標年度			
57	H23	37	H28	29	%

<従前値>

- ・過年度の駅利用者アンケート調査（平成 23 年度実施）の結果から、駅利用に関する不満度の割合（安達駅について、「やや不満」「不満（不十分）」と回答した割合）（57%）を従前値として設定した。

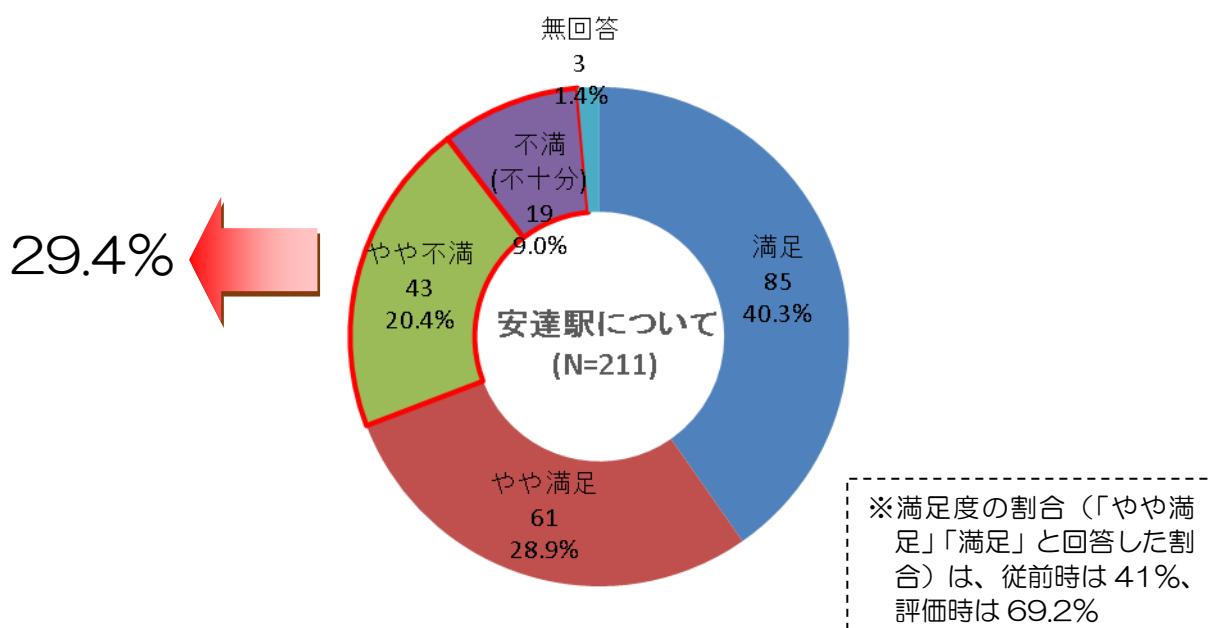
<目標値>

- ・本計画の目標として、「交通機能の強化による、安全安心と利便性の向上及び交通渋滞の緩和」を掲げており、東西自由通路、東西駅前広場、東口駐車場、公衆トイレの整備により、東西両側から駅利用が可能となること、魅力的な駅前空間づくりなどによる、相乗的な効果発現を目指している。
- ・本計画における本指標の目標値は、従前調査における「不満」が約 2 割であったことから、これを解消するものとして、不満度は 20%低い 37%に設定した。

<評価値>

- ・計測時点で駅施設や駅東口広場等は整備されており、一定の効果が見込めるため、安達駅利用者を対象として、従前と同様のアンケート調査を実施した。
- ・従前と同様の設問「安達駅（駅前広場、ホーム、トイレ、駐車・駐輪場を含む）について満足していますか。」を設けたアンケート調査を安達駅東西自由通路上で実施（調査員が通行者に調査票を配布、東西自由通路上に設置した調査票回収箱にて回収）した。
- ・アンケート調査の結果、「やや不満」20.4%、「不満（不十分）」9.0%であり、あわせて不満度は 29.4%となり、目標を達成した。

■ 駅利用満足度アンケート調査結果（H30.1 実施）



指標 3	西口駅前広場渋滞調査				
従前値	目標値		評価値 (H29)	単位	
	基準年度	目標年度			
100	H23	70	H28	45	m

<従前値>

- ・安達駅西口駅前広場の渋滞延長として、朝夕ピーク時の最大停車台数 20 台に送迎車両 1 台あたり 5 m を乗じた 100m を従前値として設定した。

<目標値>

- ・従前は、駅に出入りできるのは西口だけで、西口駅前に駅送迎などの車両が集中するとともに、広場が未整備であったため、停車車両が路上にあふれ、ピーク時には慢性的な渋滞状況を呈していた。送迎車両の朝・夕方それぞれのピーク時間帯において、約 30% が駅東側からの利用となっていた。
- ・東口駅前広場整備及び自由通路整備により、西口のみ利用から東口の利用に転換されることが想定され、現西口駅前広場の慢性的な交通渋滞の緩和、さらには西口駅前広場のロータリー化により円滑な交通処理が可能となる。
- ・よって、従前値 100m の 30% が東側利用に転換されることとして、目標値を 70m に設定した。

<評価値>

- ・従前値と同様に、西口駅前におけるピーク時の渋滞長を計測した。
- ・計測時点で東西の駅前広場は整備されており、一定の効果が見込めるため、従前値と同様の方法で西口駅前において、渋滞長の調査を実施した。
- ・平日及び休日の朝夕交通量ピーク時の前後 3 時間（朝は 6:00~9:00、夕方は 16:00~19:00）に調査員を配置し、西口駅前での送迎車両の停車台数をカウントした。

休日調査(1/21)

時間帯	市道		西口乗降場	
	最大駐車台数	最大停車台数	最大駐車台数	最大停車台数
6 時台	0	0	0	2
7 時台	1	1	0	3
8 時台	0	2	0	2
16 時台	2	0	5	2
17 時台	0	0	5	1
18 時台	1	1	6	2
最大	2	2	6	3

平日調査(1/22)

時間帯	市道		西口乗降場	
	最大駐車台数	最大停車台数	最大駐車台数	最大停車台数
6 時台	0	2	1	12
7 時台	0	2	1	10
8 時台	0	0	0	3
16 時台	2	0	5	1
17 時台	3	0	10	2
18 時台	8	1	13	2
最大	8	2	13	12

停車：人の乗降のための一時的な停止（停車してすぐに乗降する場合）

駐車：人の迎えなど、継続的な停止（停車後、しばらく誰も乗降しない場合）

※参考として、西口乗降場内に駐停車している台数についてもカウントした。

- ・調査結果によると市道への駐停車車両台数のピークは平日 18 時台であり、駐車台数 8 台、停車台数 1 台であった。
- ・これより合計駐停車台数の **9 台×5m=45m** が渋滞長の評価値となり、目標値の 70m 以下であるため、目標値を達成した。

その他指標 1		地区内新築件数			
従前値	基準年度	目標値		評価値 (H29)	単位
			目標年度		
0	H23	—	—	16	件

<その他指標を追加した理由>

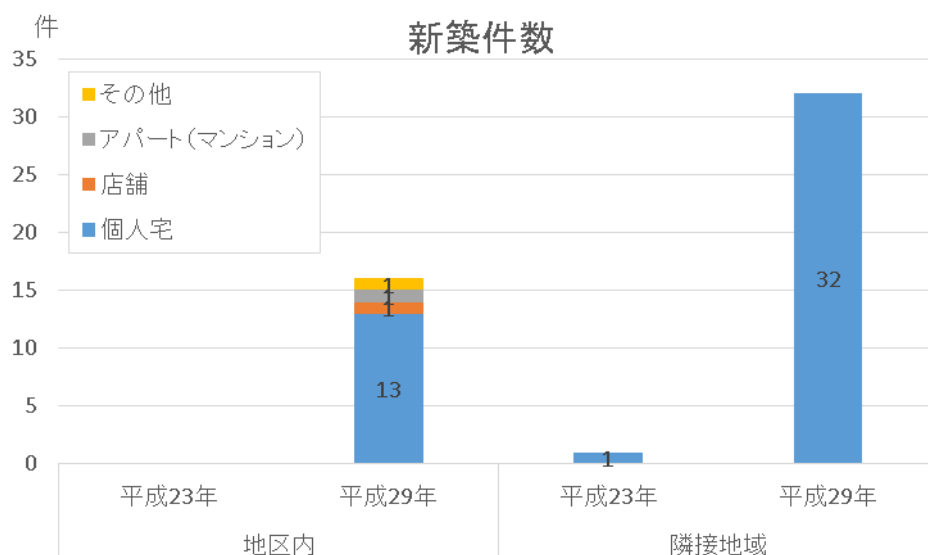
- 地区の整備に伴う効果として、新築件数の増加が見られ、人口増加による賑わいを表している指標としてふさわしいと考えられることから、追加の評価値として設定した。

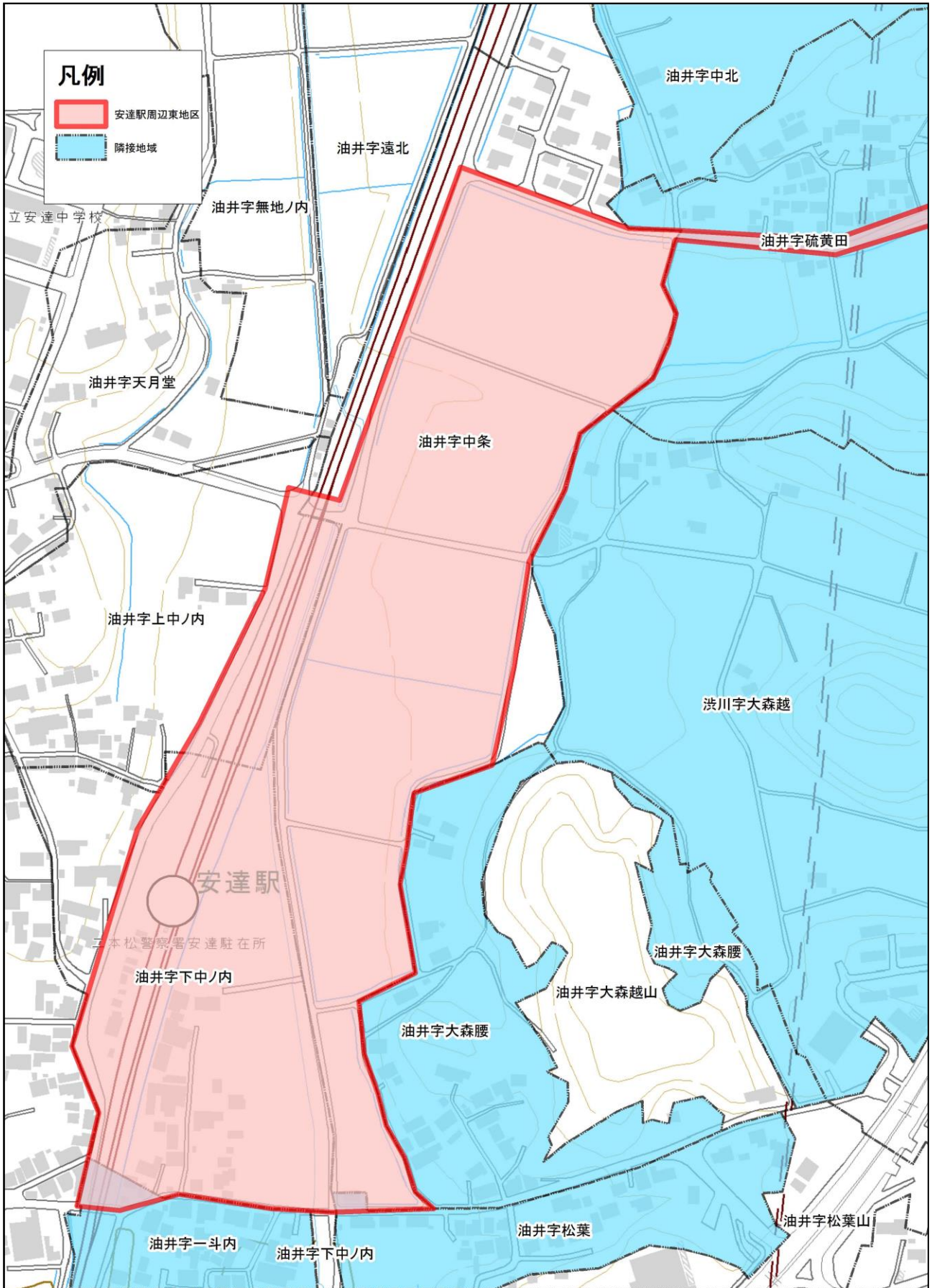
<従前値>

- 建築確認台帳を用いて、平成 23 年の 1 年間における地区内新築件数を把握した。

<評価値>

- 建築確認台帳を用いて、平成 29 年の 1 年間における地区内新築件数を把握した。
- 平成 29 年の建築確認台帳は、平成 30 年 1 月にまとまることから、年度内に評価値を把握することが可能である。
- 地区内新築件数を把握した範囲は、次ページの図のとおりである。
- 地区内新築件数は、平成 23 年の 1 年間は 0 件であったが、平成 29 年の 1 年間では 16 件（個人宅 13 件、店舗 1 件、アパート（マンション）1 件、その他 1 件）となっており、駅周辺にふさわしい土地利用に伴う人口増加がうかがえる。
- なお、次ページに示す「隣接地域」の新築件数は、平成 23 年 1 件（個人宅）、平成 29 年 32 件（すべて個人宅）であり、隣接地域においても人口増加がうかがえる。





その他指標 2		地区内民間開発許可件数			
従前値	基準年度	目標値		評価値 (H29)	単位
			目標年度		
0	H23	—	—	7	件

<その他指標を追加した理由>

- 地区の整備に伴う効果として、民間開発の増加が見られ、地区の賑わいを表している指標としてふさわしいと考えられることから、追加の評価値として設定した。

<従前値>

- 開発許可資料を用いて、平成 23 年度における民間開発許可件数を把握した。

<評価値>

- 開発許可資料を用いて、平成 29 年度までの民間開発許可件数（累積）として、平成 27 年 4 月～平成 30 年 1 月現在における民間開発許可件数を把握した。
- 民間開発許可件数の結果は以下のとおりであり、地区内及び隣接地域ともに民間開発が見られ、地区の賑わいととも、駅周辺にふさわしい土地利用に伴う人口増加がうかがえる。

■開発許可件数（平成 27 年 4 月～平成 30 年 1 月現在）

○地区内許可件数 7 件

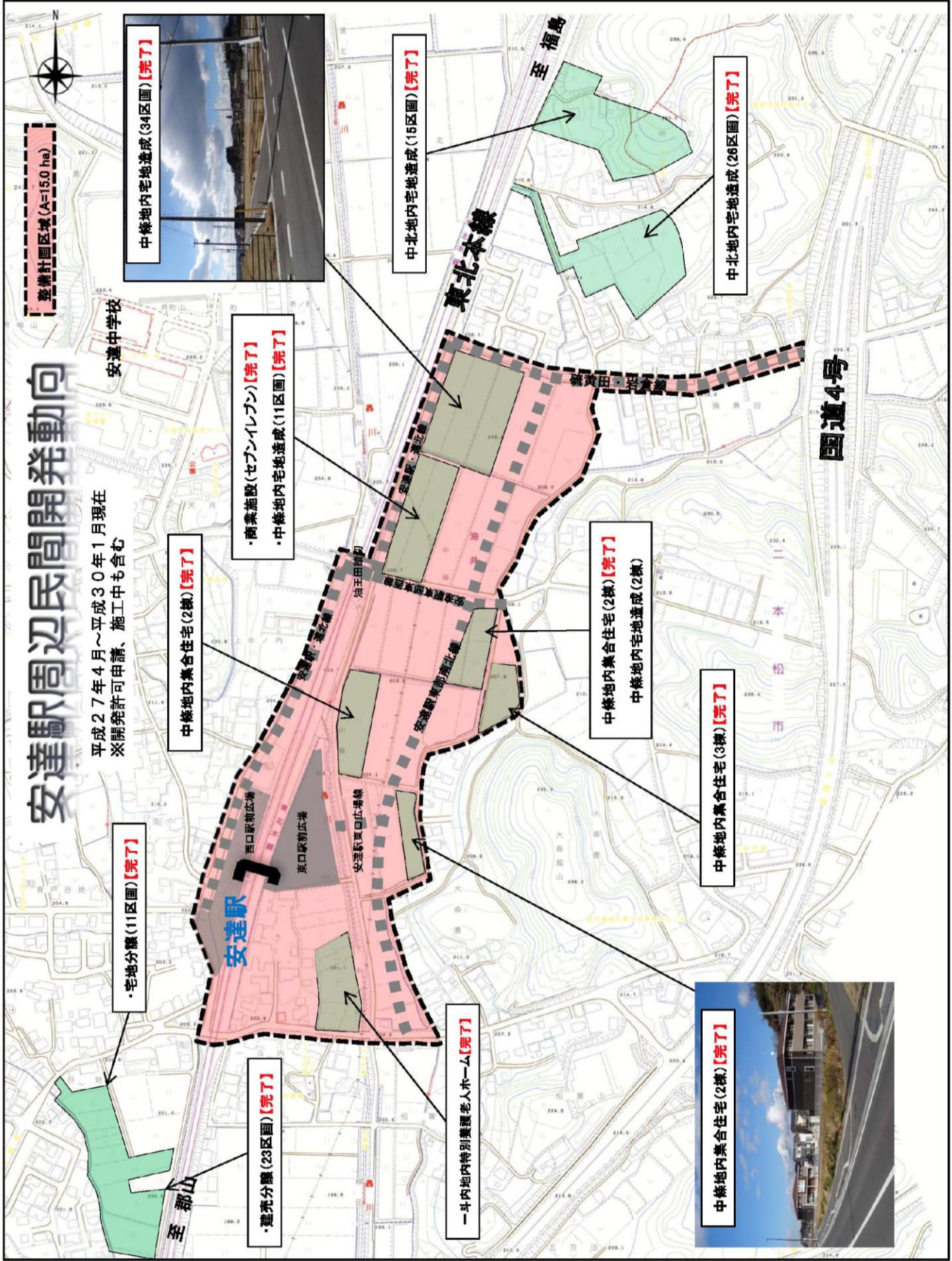
- 分譲区画 45 区画
- 集合住宅 7 棟
- 特別養護老人ホーム 1 棟
- 商業施設（セブンイレブン）1 棟

○隣接地域許可件数 4 件

- 分譲住宅 75 区画

※宅地開発指導要綱（3,000 m²未満）に基づく許可件数も含む

※なお、H23 年度開発許可件数は 0 件



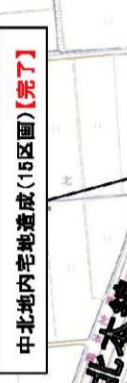
安達駅周辺民間開発動向

平成27年4月～平成30年1月現在
 ※開発許可申請、施工中も含む

整地計画区域 (A=15.0 ha)



中條地内宅地造成(34区画)【完了】



中北地内宅地造成(15区画)【完了】



中北地内宅地造成(26区画)【完了】



・商業施設(セブンイレブン)【完了】
 ・中條地内宅地造成(11区画)【完了】

中條地内集合住宅(2棟)【完了】

中條地内集合住宅(2棟)【完了】
 中條地内宅地造成(2棟)

中條地内集合住宅(3棟)【完了】

・宅地分譲(11区画)【完了】

・建売分譲(23区画)【完了】

一斗内内特別養護老人ホーム【完了】



中條地内集合住宅(2棟)【完了】